

# 令和5年度社会福祉法人遠野市保育協会事業報告書

遠野市内における子育て支援を実践する社会福祉法人として市民の期待や負託に応えるため、令和5年度においても市内全域の保育園の経営、児童館の指定管理、児童クラブ等の受託運営を行うとともに、経営の持続的な成長を目指して各種事業に取り組みました。

## 1 法人運営（事務局）

引続き保育園13か所の経営を行ったほか、児童館7か所の指定管理並びに児童クラブ4か所、地域子育て支援センター「まなざし」及び病児等保育施設「わらっぺホーム」の受託運営等の事業を展開し、遠野市における子育て支援の中核的な役割を担うとともに、本法人を取り巻く環境の変化への円滑な対応を図り安定的な経営に努めました。

社会福祉法人制度改革の趣旨に沿って、より一層地域の皆様から信頼される法人を目指して事業を展開してきました。

なお、社会福祉充実残額（純資産額から事業継続に必要な財産額を控除等した額）は、発生しませんでした。

### (1) 社会福祉法人制度改革の継続的取組み

事業計画概要	実施状況等
ア 経営組織のガバナンスや財政規律の強化	ア 会計監査人による監査を継続し適切な会計処理に努めました。
イ 事業運営の透明性の向上	イ 情報の公表、公開など適切な対応に努めました。
ウ ICTの推進等による業務効率化や効率的経営の実現	ウ 予算の制約もあり、新たなICT導入はできませんでしたが、研修等に参加しながら、業務効率化のための事務レベルでの検討を行いました。
エ 公益的取組の実施及び活動のPR	エ 感染症の予防対策を講じながら、出来る範囲での取組みを展開しました。また、ホームページや遠野テレビを通して、活動の紹介にも努めました。
オ 経営情報等の適切な開示	オ ホームページや広報誌を通じて、経営情報の適切な開示に努めました。
カ 市内の社会福祉法人等の連携による共生社会の実現に向けた取組み推進（遠野市社会福祉法人等連絡会への参画）	カ 市社会福祉法人等連絡会を通して他法人との連携を深めながら、地域共生社会の実現に向けた取組みに参画しました。

### (2) 第2期健全経営計画の推進

事業計画概要	実施状況等
ア 第2期健全経営計画（元気プラン）の進行管理	ア・イ 近年の急激な出生数減少により計画と乖離していますが、委託費の精査や保育園利用定員の見直し等を行い、収入
イ 将来にわたる安定的な経営のため、運	

<p>営費の精査、保育園定員の見直し</p> <p>ウ 保育施設改築及び再編計画に関する市との具体的協議</p>	<p>確保に努めました。</p> <p>ウ 市と協議を行い、対応が必要という認識では一致しましたが、市総合計画との兼合いもあり、具体的なスケジュールの決定には至りませんでした。</p>
--	--

(3) 適正な会計処理と監査機能の充実

事業計画概要	実施状況等
<p>ア 「社会福祉法人会計基準」に則した適正な会計処理</p> <p>イ 会計監査人による外部監査体制の継続による計算書類等の信頼性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査人監査 延べ45日</li> <li>・決算監査 1回（5月上旬）</li> </ul> <p>ウ 税理士の指導（毎月1回）による内部監査機能の充実</p> <p>エ 監事による施設運営等の監査実施 3回（7月、11月、2月）</p>	<p>ア 「社会福祉法人会計基準」に則した適正な会計処理に努めました。また、会計担当者研修を実施し、会計処理能力向上に努めました。</p> <p>イ 会計監査人による外部監査を継続し、計算書類等の信頼性向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査人監査 延べ45日</li> <li>・監事決算監査 1回（5月上旬）</li> </ul> <p>ウ 税理士の指導（毎月1回）による内部監査機能の充実に努めました。</p> <p>エ 監事による現場監査を7月と2月に、出納監査を11月に実施しました。</p>

(4) 広報活動の強化と情報発信の取り組み

事業計画概要	実施状況等
<p>ア ホームページの内容充実</p> <p>イ 協会広報誌「かたぐるま」の発行（年2回）</p> <p>ウ オリジナル番組「とおのっこバンザイ」の自主制作</p> <p>エ メール配信システム（各保育園）活用による保護者等との情報共有</p> <p>オ 遠野テレビのニュース番組「とおのタイム」を活用した活動紹介</p>	<p>ア 社会福祉法人としての情報を掲載するとともに、新しい情報を伝えるため更新に努めました。</p> <p>イ 前年度事業報告・決算、今年度事業計画・予算、職員募集、各施設の活動状況、子育てワンポイント等を掲載し、年2回（8月・11月）全戸配布しました。</p> <p>ウ 「かがやく  미래の とおのっこ」をテーマに各施設での児童の様子や行事などを遠野テレビと連携して制作し、原則毎月第4火曜日に放送を行いました。</p> <p>エ 感染症情報や緊急時の連絡等の情報伝達を速やかに行い、保護者との情報共有を図りました。</p> <p>オ 遠野テレビを活用して施設の活動を積極的に発信し、協会事業のPRに努めました。</p>

## (5) 適切な人事管理及び人材育成

事業計画概要	実施状況等
<p>ア 人材の計画的確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員採用試験の年2回実施</li> <li>・奨学金返済支援制度の継続</li> <li>・職員の処遇改善の実施等</li> </ul> <p>イ 人材の育成（研修等の充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等への参加促進及び機会の均等化</li> <li>・リーダー制の継続及びキャリアパス制度と連動した人材育成のシステム化</li> </ul> <p>ウ 働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務や行事等の見直しによる保育士の負担軽減検討</li> </ul>	<p>ア 専門学校等への訪問、市主催の就職ガイダンス参加、遠野しごと展への出展等による周知や、採用試験の2回実施、奨学金返還支援、処遇改善の継続などにより人材確保に努めました。</p> <p>退職職員は5人（保育士4人）でしたが、保育士1人、児童厚生員2人を採用し、正規職員の数は89人（前年2人減）となりました。</p> <p>イ 組織内外の研修に参加を促し、職員の資質向上と人材育成に努めるとともに、リーダー制を継続し、キャリアパス制度と連動した人材育成及び職員の意識改革に努めました。</p> <p>ウ 各職場の課題をまとめ、できる部分から改革に努めましたが、十分とは言えないことから今後も改革を継続します。</p>

年度当初の職員状況					(単位：人)	
	嘱託職員	正規職員	臨時職員		合計	
			基準職員	パート職員等		
保育園		76	55	43	174	
児童館等	3	9	12	36	60	
子育て支援			2	1	3	
病児等保育		1	1	5	7	
本部事務局		5	0	0	5	
合計	3	91	70	85	249	

## (6) 安全管理（リスクマネジメントの取り組み）

事業計画概要	実施状況等
<p>ア 事故防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクの洗い出しによる事故発生予防</li> <li>・事故等の分析による再発防止や類似事故の発生予防</li> <li>・施設内外の安全点検実施による職員の共通理解や更なる意識の高揚</li> </ul> <p>イ 災害対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と協働による危険箇所の点検や避難訓練の実施</li> </ul>	<p>ア 各施設の計画に基づき、安全点検、利用者等への教育、訓練、情報発信等に努めました。</p> <p>また、発生事故等を分析し、その内容について施設間で共有を図るなど、再発防止や類似事故の予防に努めました。</p> <p>イ 災害や事故の発生に備え、定期的な避難訓練等を実施しました。</p>

ウ 感染症等の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種疾病の発生予防</li> <li>・発生した際の対応方策等のマニュアル再確認による拡大防止</li> </ul>	ウ 感染症などの発生予防、発生した際の拡大防止を図るためのマニュアルの再確認や嘱託医、保健所等との連携強化に努めました。
エ セキュリティ対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のセキュリティ意識の向上</li> <li>・ウイルス対策の強化</li> </ul>	エ 個人情報保護や安全管理規程を策定して周知するなど、職員の意識高揚等に努めました。

(7) 協会50周年の取組み

事業計画概要	実施状況等
令和6年2月に設立50周年を迎えることから、準備委員会及び実行委員会を組織し、記念事業及び記念誌発行等を行う。	記念事業実行委員会を組織して準備を進め、次のような記念事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年1月20日 わらすっこフェス、記念式典及び祝賀会開催。記念誌発行。</li> <li>・シンボルマーク作成。</li> </ul>

(8) 会議等の開催

事業計画概要	実施状況等
ア 理事会、評議員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 評議員会開催予定 定時評議員会（6月）</li> <li>(イ) 理事会開催予定 6月（2回）、9月、12月、3月</li> </ul>	ア 理事会及び評議員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 評議員会 役員の選任、法人運営の重要事項等について決議していただくため、6月に定時評議員会を開催しました。</li> <li>(イ) 理事会 業務執行に関する重要事項等について決定を行うため6回開催しました。</li> </ul>
イ 経営会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営執行の方針や重要事項等の討議検討及び情報共有を図るため適宜開催</li> </ul>	イ 経営会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要事項等の検討及び役員間の情報共有等のため、4回開催しました。</li> </ul>
ウ 定例園長会議及び児童館長等会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの連絡調整や連携を図るため、毎月（各12回）開催</li> </ul>	ウ 定例園長会議及び児童館長等会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡調整や連携を図るため、それぞれ毎月開催しました。市及び教育委員会事務局の担当課長にも出席いただき、情報共有等に努めました。</li> </ul>
エ 福祉サービスに関する運営適正化検討会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情や事故等の検証を行い、対応策等の共有とリスクマネジメントのため年2回開催</li> </ul>	エ 福祉サービスに関する運営適正化検討会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情や事故等の検証を行い、対応策等の共有とリスクマネジメントのため、2回開催しました。</li> </ul>
オ 契約等予定者選定委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事及び備品購入等に係る契約等予定者の適正な選定を図るため随時開催</li> </ul>	オ 契約等予定者選定委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約等予定者の適正な選定を図るため、3回開催しました。</li> </ul>

## 2 保育園の経営

保育所保育指針の趣旨を踏まえ、子どもの健康及び安全を確保しつつ、子どもの一日の生活や遊びの発達過程を見通し、子どもの主体性を育てる保育を大切にされた保育に努めました。

経営においては、各園の経営努力、公定価格の単価改定、利用定員の見直しなどにより、10か所の保育園で人件費又は施設整備への積立ができるなど、概ね安定した経営を継続することができました。（鱒沢保育園は、人件費等に不足が生じ、遠野市との運営移管時の協定に基づいて補助を受けています。）しかし、近年の出生数の急激な減少に伴い、年度当初の入園児童数が20名前後となる園があることに加え、年度途中の入所児童が減少していることから、今後は人件費積立金の取崩が必要となる園の増加も懸念されます。

なお、委託費収入に対する人件費支出の割合（人件費率）は、79.1%となり依然として高い水準となっています。

	R 5	R 4	R 3	R 2
委託費収入	916,781,022	867,546,290	863,279,210	857,625,827
人件費支出	725,582,093	716,907,258	707,889,575	699,567,584
人件費率	79.1%	82.6%	82.0%	81.7%

職員配置においては、途中入所増にも対応できる体制づくりに努めましたが、保育士が減少傾向にあることから、引続き保育士の確保に努める必要があります。

なお、主任や副主任保育士が、現場での問題解決に向けた職員間のパイプ役として取組み、職員相互の機能性を高めるとともに、保育業務をチームとして遂行するようにしました。

	園長等	基準職員等						基準外職員					合計
		保育士	看護師	栄養士	調理員	保育補助	計	保育士	保育補助	調理補助	看護師	計	
①当初配置	14	83	3	8	17	5	116	24	14	5	1	44	174
うち正規職員	14	52	2	8	0	0	62	—	—	—	—	—	76
②年度末配置	14	83	3	8	17	5	116	27	18	5	1	51	181
②-①	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	7	7

### (1) 入所児童

事業計画概要	実施状況等
年度当初保育所入所受付児童数 519名 (令和4年度比18名の減)。 出生数減少に伴い、地域偏在がより顕著になってきていることから、更なる認知度向上を図り入所児童の確保に努める。	入所児童の状況は、次表のとおりです。 利用定員の見直しにより、利用定員に対する入所児童の比率は99.5%と、近年では比較的高い状況となりました。0～5歳児人口に対する入所児童の比率は、近年77%前後で推移しています。

入所児童数

	R 5	定員(580人)比	R 4	R 3	R 2
年度当初入所児童	531人	91.6%	537人	587人	630人
3/1時点入所児童	577人	99.5%	595人	629人	682人
年度当初0～5歳児人口	746人	—	769人	821人	856人
3/1時点入所率	77.3%	—	77.2%	76.6%	79.6%

保育園定員の見直し(令和6年4月適用)

(全体定員 580人 ⇒ 550人)

保育園名	見直しの視点	変更前の定員	変更後の定員	増減
白岩保育園	減員	90	80	△ 10
土淵保育園	減員	40	30	△ 10
上郷保育園	減員	50	40	△ 10

(2) 保育の質向上への取組

事業計画概要	実施状況等
<p>子どもたちの最善の利益を意識し、一人一人の発達過程に合わせて充実した活動ができるよう、保育所保育指針に基づく職員の資質・専門性の向上を図る。</p> <p>ア 保育士等の専門性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な知識及び技術の習得、維持及び向上</li> </ul> <p>イ 組織的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育内容に対する自己評価実施等による質の高い保育サービスの提供</li> </ul> <p>ウ 多様化する保育ニーズへの対応（特別保育の継続）</p> <p>エ 子育て（保護者）支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育ての悩み等の相談に対して、保護者の気持ちに寄り添い専門性を活かした“夢をつむぐ子育て支援”の実施</li> </ul>	<p>入所児童の最善の利益を意識し、一人一人の発達過程に合わせて充実した活動ができるよう、次のような取組みを行いました。</p> <p>ア 保育士等の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修及び専門部会研修（主任、副主任、栄養士、看護師、調理員、5歳児及び児童館・児童クラブの7グループ）を開催するとともに、県内外の研修に積極的に参加させるなど資質の向上に取組みました。</li> </ul> <p>イ 組織的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各園で保育計画の展開状況や職員の自己評価を踏まえ、園の保育内容に対する自己評価を実施するとともに、評価結果を分析し、園が取り組むべき課題を明確にして改善を進め、質の高い保育サービスの提供に努めました。</li> </ul> <p>ウ 多様化する保育ニーズへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別保育事業（地域活動・延長保育・一時保育・休日保育・障がい児保育）を継続実施し、多様化するニーズに対応しました。</li> </ul> <p>エ 子育て（保護者）支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談に当たっては、相談者の気持ちを受け止め、専門性を活かした支援や相談に努めました。（相談件数0件）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開かれた子育て支援に関する拠点としての役割の実践</li> </ul> <p>オ 食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育を保育の一環として位置付け、安心安全、楽しい食と情報の提供並びに健康を守る自園調理提供</li> <li>・食物アレルギーなど一人一人の子どもの心身の状態等に応じた対応</li> <li>・栄養士、調理員による園児への給食等の説明の実施</li> <li>・園児の食べ方、食の進み具合等を反映させた献立、調理の工夫</li> </ul> <p>カ 公開保育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各保育園での実践事例を通して保育の良さや課題を見つめ直すことを目的に公開保育を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所児童にとどまらず地域に開かれた子育て支援に関する拠点としての役割を担うべく取り組みました。</li> </ul> <p>オ 食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育を保育の一環として位置付け、安心安全で、楽しい食と健康を守る自園調理の提供に取り組むとともに、保護者への情報提供に努めました。</li> <li>・食物アレルギーに十分注意を払い、8保育園において25人分の除去食を実施しました。</li> </ul> <p>カ 公開保育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主研修組織双葉会と連携し、公開保育を次のとおり実施しました。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">施設</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩滝保育園</td> <td>遊びを通して育む心 ～もっと自分を出せるように～</td> </tr> <tr> <td>神明保育園</td> <td>やってみたい！遊びたい！が見つかる保育 ～遊びのきっかけが生まれる環境づくり～</td> </tr> <tr> <td>上郷保育園</td> <td>子どもの思いに寄り添った環境づくり ～環境構成・再構成を通して～</td> </tr> <tr> <td>土淵保育園</td> <td>幼児の学びから保小連携・接続を考える ～育ちの連続性を学ぶ～</td> </tr> </tbody> </table>	施設	研究テーマ	岩滝保育園	遊びを通して育む心 ～もっと自分を出せるように～	神明保育園	やってみたい！遊びたい！が見つかる保育 ～遊びのきっかけが生まれる環境づくり～	上郷保育園	子どもの思いに寄り添った環境づくり ～環境構成・再構成を通して～	土淵保育園	幼児の学びから保小連携・接続を考える ～育ちの連続性を学ぶ～
施設	研究テーマ										
岩滝保育園	遊びを通して育む心 ～もっと自分を出せるように～										
神明保育園	やってみたい！遊びたい！が見つかる保育 ～遊びのきっかけが生まれる環境づくり～										
上郷保育園	子どもの思いに寄り添った環境づくり ～環境構成・再構成を通して～										
土淵保育園	幼児の学びから保小連携・接続を考える ～育ちの連続性を学ぶ～										

(3) 園舎等の施設整備

令和5年度は、長期施設整備計画に基づく改築整備は無く、委託費の中で必要な施設補修等を実施し、施設の安全管理に努めました。

事業計画概要	実施状況等
ア 老朽化が進んでいる施設の整備促進のため、市との具体的協議	ア 1 (2)ウの実施状況参照
イ 具体的候補地選定や建設規模、資金繰り等の検討	イ 宮守保育園候補地は、地域の検討会で検討されており、今後本法人への情報提供があると思われます
ウ 良好な施設環境維持のため、施設点検の実施	ウ・エ 安全点検を実施し、必要箇所での修繕等を行うなど施設の安全管理に努めました。
エ 計画的な補修及び改修の実施	

(4) 小学校等との連携

事業計画概要	実施状況等
ア アプローチカリキュラムを作成し卒園後のスムーズな学びへの接続を意識した主体的で共同的な活動の充実	ア 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭にアプローチカリキュラムを作成し、卒園後の学びへの接続を意識した主体的で共同的な活動の充実を図りました。
イ 卒園児の小学校への情報提供の継続 ウ 障がい児（グレーゾーンを含む）の情報共有など、関係機関等との連携強化	イ・ウ 入学予定の小学校に、卒園児の保育要録や情報を提供するなど、円滑な就学につながるよう努めました。

3 児童館・児童クラブの運営

遠野市から7児童館を指定管理、4児童クラブを受託し、市内11小学校区全ての放課後児童の居場所として、遊び（体験・交流・学び等）を通して健全育成を図りました。

また、令和6年4月1日から各児童館等での安全計画の策定が義務化されるため、その準備を行いました。

項 目	R 5		R 4		R 3		R 2		
	実績 （人）	前年比 （%）	実績 （人）	前年比 （%）	実績 （人）	前年比 （%）	実績 （人）	前年比 （%）	
小学生	年間延べ利用者	110,757	99.7	111,082	90.2	123,151	95.1	129,474	105.9
	1日平均利用者	40.1	99.5	40.3	90.0	44.8	95.1	47.1	106.1
全体	利用者	115,431	101.0	114,238	90.0	126,920	94.8	133,938	114.2
	1日平均利用者	41.8	100.7	41.5	90.0	46.1	94.7	48.7	114.3
土曜日	利用児童	324	85.0	381	70.6	540	115.1	469	91.8
	延べ開館日数	63	96.9	65	85.5	76	111.8	68	95.8
	1日平均利用者	5.1	86.4	5.9	82.6	7.1	102.9	6.9	95.8
年間延べ開館日数等 （土曜日を除く）		2,761日		2,750日		2,750日		2,750日	

※全体＝小学生、幼児、中学生、高校生、一般の利用者の合計

(1) 職員配置

館長は、令和5年度から3人体制となりましたが、利用者、地域及び関係機関団体等との対応等に影響が生じないよう職員が連携して対応し、大きな混乱なく運営ができました。

事業計画概要	実施状況等
ア 館長 ・引続き熱意を持った方を委嘱 ・1人複数館担当の体制を継続	ア 館長 ・1人複数館の体制を継続し、3人（中学校区に1人）に委嘱しました。

イ 職員 ・各館及び各クラブ2名配置を基本とし、状況等に応じ柔軟に増員対応 ・全施設への正規職員配置について市と継続協議	イ 職員 ・各館及び各クラブとも、2人を基本として配置しました。 ・全施設への正規職員配置については、市と協議を継続しています。
--	--

職員配置状況						(単位：人)	
館長	児童厚生員				児童厚生員		計
	上席主任	主任	副主任	児童厚生員			
				児童館	児童クラブ		
3	1	1	2	20	8	35	

(2) 遊びの指導内容の充実

事業計画概要	実施状況等
ア 遊びを通じた心身の健康維持、知的・社会的能力の向上、異年齢を含む集団形成による自主性、社会性及び創造性を育む事業やプログラム等の充実 イ 中学校区ごとの合同交流会等の積極的取り組み等、学校とは異なる機能の発揮	ア 遊びを通じた心身の健康維持及び知的・社会的能力を高める様々な活動に自発的に取り組めるような事業やプログラム等の充実に努めました。 イ 全児童館・児童クラブや中学校区ごとの交流の場として、ドッジボール大会等の合同事業を実施しました。

(3) 職員の資質の向上

事業計画概要	実施状況等
ア 内部研修の充実 イ 「児童厚生2級指導員研修」受講機会及び「放課後児童支援員認定資格」習得の推進	内部研修の充実に図るとともに、「児童厚生2級指導員研修」及び「放課後児童支援員資格研修」に積極的に参加させるなど資質の向上に努めました。

(4) 要支援児童への対応

事業計画概要	実施状況等
ア 要支援児童への対応のため、専門家による講義及びケース検討の研修実施 イ 障がいの理解及び適切な対応や支援の仕方などについての対応力向上 ウ 適切な対応のため、保護者や関係機関との情報共有及び連携	専門家による事例検討研修を実施し、支援等の対応力向上に努めました。 また、小学校と連携を密にするとともに、子育て支援課、健康福祉の里等と連携して、支援が必要な児童や保護者に寄り添った対応に努めました。

要支援児童数（病名が有る児童）				(単位：人)
R 5	R 4	R 3	R 2	
37	31	31	29	

(5) 子育て（サークル活動）支援

事業計画概要	実施状況等
ア 子育て支援センターや各保育園と連携し、子育てに関する悩みや相談対応	ア 関係施設と連携して、子育てに関する悩みや相談対応を行いました。（相談件数43件）
イ 就学児童が利用しない時間帯に施設を在宅親子に活動場所として開放し、仲間意識の高まりや自主的活動を支援	イ 午前を中心に、在宅親子に施設を開放し、仲間づくりや自主的活動が行えるよう支援を行いました。

子育てサークル名	関与館名	登録世帯数			
		R 5	R 4	R 3	R 2
ひよこクラブ	遠野児童館	12	11	16	22
すくすくクラブ	綾織児童館	0	0	0	3
子育ておしゃべり会	白岩児童館	3	0	2	12
つくしんぼクラブ	附馬牛児童館	4	0	3	4
にこにこクラブ	小友児童クラブ	4	3	0	0
ひまわりクラブ	土淵児童クラブ	14	3	4	8
たけのこクラブ	青笹児童館	11	6	11	10
かみごうっ子クラブ	上郷児童館	10	6	14	9
宮守カンガルー教室	宮守児童館	6	5	4	14
計		64	34	54	82

※他に遠野聖光こども園のサークルあり。

4 地域子育て支援センターの運営

子育て家庭等に対する相談指導、子育てサークル活動等への支援は、社会福祉法人としての公益的な取組のひとつでもあることからその充実に努めました。

(1) 地域子育て支援センター「まなざし」等の活動充実

事業計画概要	実施状況等
ア 下記事業等の企画実施による利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなざし」を利用する在宅親子に交流等の場の提供</li> <li>・親子同士の自主的活動支援</li> <li>・各地域子育てサークル活動の支援</li> <li>・地域子育てサークルの合同事業や専門職による相談 等</li> </ul>	各保育園の子育て支援推進担当者(主任保育士に発令)及び各児童館・児童クラブの遊びの指導員と連動して活動の地域的溫度差を解消し、子育て支援の拠点としてコーディネート機能の充実に努めました。 また、利用者に交流等の場を提供するとともに、親子同士の自主的活動及び各地域の子育てサークル活動の支援並びに合同事業や専門職による相談等を企画実施しました。(年間相談件数 43件)

年間利用人数の状況 (単位：人)			
R 5	R 4	R 3	R 2
2,483	1,893	1,733	2,117

※年間利用人数は0歳児から2歳児とその保護者の人数

  

職員配置及び事業推進体制 (単位：人)			
地域子育て支援センター所長 (病児等保育施設所長兼務)	まなざし	地域子育て支援推進 担当者	子育てサークル 担当者
1	保育士等	各保育園 主任保育士等	児童館等職員
	3	13	11

(2) 支援団体等との連携

事業計画概要	実施状況等
ア 支援団体との更なる連携強化による在宅親子等への育児支援推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援連絡会「クレヨン」</li> <li>・保育協会退職者の会「陽だまりの会」</li> <li>・市民生児童委員協議会</li> </ul>	子育て支援連絡会「クレヨン」、保育協会退職者の会「陽だまりの会」及び主任児童委員協議会と連携し、在宅親子等への育児支援を実施しました。(新型コロナウイルス感染症予防のため、訪問は自粛)

5 病児等保育の受託

事業計画概要	実施状況等
ア 市病児等保育施設「わらっぺホーム」の運営業務の継続受託 イ 遠野病院や市関係部署等との連携による、病児等の適切な看護及び保育の提供	病児等への適切な看護及び保育並びに保護者への育児相談及び就労支援を行いました。遠野病院や市関係部署等と感染症情報等を共有して適切な対応を行うとともに、0～2歳児には、情緒の安定を図るため可能な限り1対1の保育看護に努めました。 また、保育園での疾患対応や保健衛生に関する情報の共有を図り、感染症予防等の対応を徹底しました。

病児等保育施設「わらっぺホーム」利用実績

	R 5	R 4	R 3	R 2
開室日数	232日	215日	172日	226日
利用延べ人数	290人	176人	219人	196人
1日平均利用者	1.25人	0.77人	1.27人	0.87人

職員配置状況

(単位：人)

病児等保育施設所長 (地域子育て支援センター所長兼務)	主任看護師	保育士
1	1	1